

### 女性の就農環境改善計画書

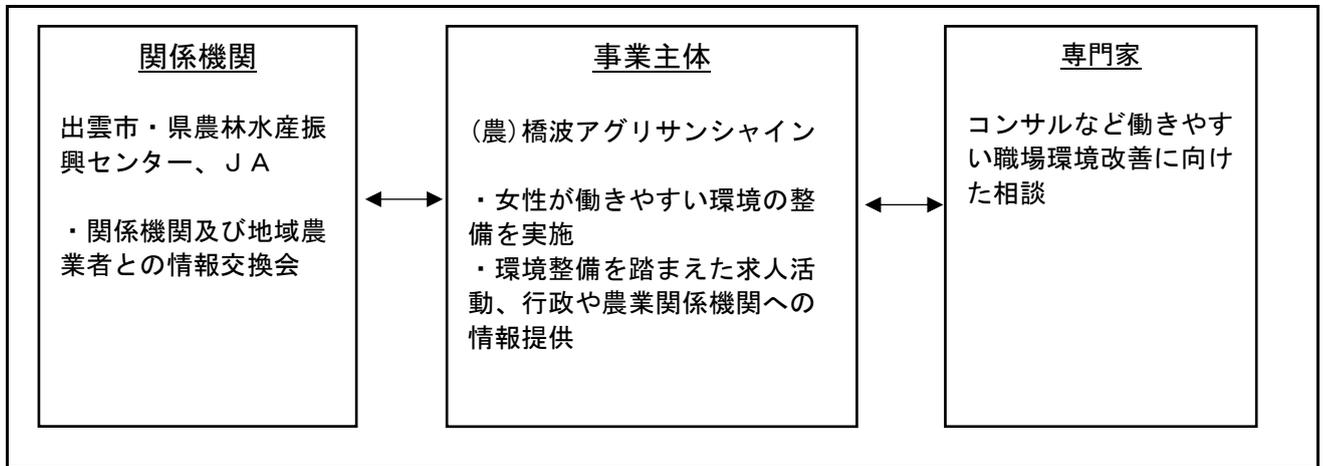
(令和5年度女性の労働環境整備・活躍強化事業(女性が働きやすい環境の整備支援))

#### 1 地域取組主体の概要

名称	農事組合法人 橋波アグリサンシャイン	
所在地	島根県出雲市佐田町下橋波111-1	
代表者	組合長 大谷 健二	
主な組織の事業内容(注)	*農産物生産・販売 *従業員数:14名(うち女性5名) 1)水稲栽培(5割減栽培・有機JAS栽培)18.4ha 2)施設野菜栽培(ホウレンソウ・葉ホトトギス採種・スイートコーン他)0.4ha 3)露地野菜(サツマイモ・ジャガイモ等根菜類・ブロッコリー他)0.7ha 4)飼料稲(WCS)栽培 4.2ha 5)ソバ栽培 2.1ha 6)農作業受託(水稲・WCS・農業用ドローン作業)10ha 7)6月~8月サマータイム勤務	女性農業者の人数: 5人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

#### 2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

### 3 女性の就農環境改善のための取組計画

#### (1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

##### 【地域の女性農業者の課題】

当組合は島根県出雲市の中山間地域において水稻を中心に施設園芸や露地野菜の栽培を行い、年間を通じた農産物生産及び販売に取り組んでいる。特に若手従業員の雇用により水稻栽培や農業基盤の維持管理などハード面の取り組み体制を充実し、ハウレンソウをはじめとする多種の施設野菜や露地野菜の生産・販売の拡大も重要と捉え、この部門の充実のためには女性スタッフの協力が必要不可欠であります。現状は5名の女性スタッフが中心に作業にあたっているが、野菜づくりの更なる体制強化を図るため他の職場の現役退職者が見込めることから、こうした女性のパワーとこれまで培われたノウハウなど活用し、地区内におけるきめ細やかな作物栽培や外部への販売強化の体制を一層強化することで経営向上に繋げるとともに、女性による美味野菜応援隊<sup>おいやさいおうえんたい</sup>として生涯現役で働き続けることができる職場づくりの必要性が高まっている現状です。

##### 【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性】

平常時の野菜栽培から収穫・調整においては、午前8時から午前中作業にあたり、6月～8月中の夏期は熱中症対策のため午前6時から作業を行い、女性は交代要員も含め5名～6名が作業を行っています。男性の作業者は30代～70代まで8名程度であり合計人数は14名であるが、トイレは男女兼用使用のため時間がかかることから休憩時間は30分間程度確保することとしています。

こうした状況のため現状の男女兼用トイレは男性専用とし、新たに女性専用のトイレを設置し女性の皆さんが気持ちよく働ける環境整備を行うことで作業性の改善にも繋がると考えます。また月に数回は共同作業所の女性スタッフ2名にも作業支援を受けており一層の必要性を感じています。

前年から行っている「農×キャン×トライアスロン」のイベントや、有機栽培などの取り組みへの視察受入時など、特に女性用トイレの利用があるが十分な対応ができず苦慮する場面も発生する状況であります。

組合の事務を担う男性1名は車椅子のため現在のトイレがバリアフリーでないことから不便を訴えており、新たに設置する女性専用トイレはバリアフリー化と併せ多目的トイレとして整備することで、障がい者にも配慮した施設として多面的に活用できることからメリットも大きいとの意見が寄せられています。

新設する多目的トイレは女性と障がい者専用とすることで、乳幼児や小児の使用が可能となるなど若い女性や育児中のスタッフ雇用へのアピールにも繋げることができると考えます。

### 【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

現状では他の職場を退職した年代の女性の作業協力が主であるが、今後もこうした人材があることをチャンスと捉え、女性同士の繋がりによる呼び込みを強力に進めることで、新たな人材確保に繋げていくことができると想定します。

また地域外からはU I ターンによる定住促進や、地域おこし協力隊員の派遣なども行政サイドから情報を受けるなど、多方面へのアンテナにより女性の就労機会に繋げていくこととします。

農業は土との闘いと言ったイメージから、肉体的な負担が大きく女性に敬遠されることもあります。当組合は30代～40代の従業員4名が働いており耕耘などの重労働を担っているため、女性の皆さんに農業の重労働的な作業負担がかからないようPRすることにより雇用確保に繋がると考えられます。また女性の皆さんに元気で楽しく働いていただくことは地域にとっても活性化の源と捉え、住民と一緒に定住化へ繋がる支援をしていく意識づくりが大切であり方策を図ることとします。

近年はスマート農業の取り組みも進み、当組合でも農業用ドローンやリモコン除草機による営農への活用を図るなか、オペレーターや補助者として興味を持ってサポートしていただく女性人材を求めることも併せて進めていく予定です。

こうした農業の営みのなかで雇用条件の改善は最も重要であり、男女を問わず給与等の待遇面を随時改善していくことが求められています。その基礎となる売上向上への取り組みに対し組合全体で強化を図りながら条件整備を並行して進めていくこととします。

(注) (2) の取組に係る具体的な課題を記載する。

### (2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保に係る計画 (注1)

確保する施設等の区分	⑤ 託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他				
区分番号 (注2)	時期	確保場所	数量	利用する女性 農業者(注3) の人数	備考
②	6月	組合所在地内	1ヶ所	5	
計			1ヶ所	5	

(注1) 事業実施主体は、本計画をホームページへ公表する際には、「事業費」及び「国庫補助金」の欄を削除すること。

(注2) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択

した場合は、具体的な名称も記載すること。

(注3) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む。）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。

#### 4 整備内容を踏まえた「目標」達成のための取組（注）

時期	取組内容・回数	備考
現在	繁忙期のアルバイト受入---田植え・稲刈り期	
	出雲市・出雲農業普及部等関係機関との情報交換---随時	
	小学生との米づくり・食育体験---年3回	
	農×キャン×トライアスロン開催	
2024年6月～	お試しスマート農業体験会	6月
	専門家による研修会開催---職場改善・野菜栽培	6月
	はしなみ「え～農祭」開催---年1回	7月
	組合次世代意見交換会・研修会開催	10月
	ホームページを使った情報提供---随時	12月
	組合情報誌「ふるさと今」への掲載---随時	
	美味野菜料理講習会---年1回	

（注）女性の就農環境改善のための整備内容を踏まえた、女性農業者確保の目標の達成のための具体的な取組内容（例：更衣室や休憩室の設置など働きやすい環境のPRによる求人など）を記載すること。また、第2の1の（5）の実績報告においては記載不要。

#### 5 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	事業実施年度	1	人
	事業実施翌年度	1	人
	合計	2	人
（女性農業者の新規確保人数の内訳）			
自営農業就業者 人、雇用就農者 1 人、アルバイト等 1 人			

（注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。また、第2の1の（5）の実績報告においては記載不要。

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※添付資料のうち、申請者のウェブサイトにおいて閲覧が可能な場合は、当該ウェブサイトのURLを記載することにより当該資料の添付を省略することができる。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。

※第2の1の（5）の計画の承認申請においては、本様式中の「（実績）」を削除すること。

【情報閲覧】 ホームページ <https://hashinamiaguri.storeinfo.jp/>

